



## カニのいる砂浜で、砂だんごがあるのは何なの

### 砂を食べるカニもいる

引き潮ひしおになって現あらわれる、砂場すなばにすんでいる体からだの小さいカニちいは、何を食べているのでしょうか。よく観察かんさつすると、はさみをいそがしく動かうごかして、せっせと砂すなをつかんで口くちに入れていきます。じつは、砂すなに混まじった、小さい海そうちいや、プランクトンかいのような小さい生き物いものや、砂のまわりすなにくっついた有機物ゆうきぶつ(死しんだ生き物いものが分解ぶんかいされてできた栄養分えいようぶん)などを食べているのです。カニは、これらのえさを、あごに生はえた毛けや、口くちに入いれた水みずを利用してこし取り、残のこった砂すなが口くちのはしに、だんごおのようにになると、はさみではらい落おとしてい

コメツギガニは、自分じぶんの巣すあなすのまわりすなに、この砂だんごてんてんを点々ならと並ならべています。

オスの片方かたほうのはさみだけが、特別とくべつ大きいシオマネキおおは、大きすぎるはさみでは、砂すなをつかんで口くちに入いれられないので、食しょくじ事じには小さいほうちいのはさみつかを使つかいます。

### カニは、すんでいる場所で種類しゅるいがちがう

夏なつ、海うみに行いったとき見みかけるカニは、砂浜すなはまか、岩場いわばやしおだまりかによって、種類しゅるいがまったくちがいます。海うみに近い川ちかや、川口かわにすんでいるアカテガニかわぐちなどもいますし、山やまの沢さわにすむサワガニさわもいます。

体からだの大きいカニおおは、はさみつかを使つかって、カイちいや、小さいサカナちい、ゴカイちいやフナムシちいなどをつかまえて食たべています。岩場いわばに生はえている海そうかいや、「も」を食たべるカニもたくさんいます。(監修・杉浦 宏)

